

## 一般社団法人・全日本テコンドー連盟設立記者会見 11月16日 東京都 JOC 記者クラブ

不適切な会計処理等で二度の是正勧告を内閣府より受けた全日本協会は、公益法人を返上、それに反対を唱える正会員等を処分するなどした全日本協会への不信感と危機感を持った熊本県協会など全国の有志府県の代表者等が、新しい団体「一般社団法人・全日本テコンドー連盟」を設立11月16日に東京岸記念体育会館内 JOC記者クラブにて設立記者会見を開いた。

武田正博理事長は、金原昇会長体制になり6年あまり、JOCのコーチ謝金問題等、多くの運営上の問題を総会等で指摘し、協会運営の正常化を試みてきたが、正論を言う者をことごとく処分するなど、すでに健全なアマチュア団体としては限界と判断、勇気ある全国の有志により健全で透明性のある組織、国体参加を目標として、普及活動に重点を置き、愛好者、競技者が安心してテコンドーが出来る環境を作り上げる事などを掲げた新団体を設立した。

今後 JOC、日本体育協会、世界連盟、国技院等に訴えながら現在の協会に代わる組織となるように努力したいと語った。記者会見の様子は、新聞各社、NHK等で報道された。

熊本県協会の樋口会長は、JOC不正謝金問題を隠ぺいしようとした金原会長を含めた執行部の責任は大きく、昨年、本県協会の選手を全日本等に派遣させないと常識では考えられない事をしておきながら、スポーツ仲裁で敗訴しても一向に反省する事はなく正論を封じ込める手法、独裁的な運営は、今後の日本でのテコンドー普及が著しく低迷する事は避けられないし、新たな団体で正しいテコンドーの普及活動に邁進することを本県協会総会で決定し新団体へ加盟した。

全日本連盟では、来年5月ごろに全日本選手権を東京で開催する予定。



全国の有志11府県の代表者



記者会見の様子

## 県日韓親善協会50周年記念式典・祝賀会開かる 11月26日 熊本ホテルキャッスル

県日韓親善協会の50周年記念式典、祝賀会が約200名が出席して盛大に開催された。

当協会からは、樋口会長、津田理事長、西田事務局長の3名が出席、テコンドー協会の顧問である北里敏明会長が流暢な韓国語をまじえての主催者挨拶に続き、蒲島知事の来賓あいさつの後、女優で韓国通として知られている黒田福美さんの韓国との交流などの講演があり、澤田一精元県知事の乾杯で祝宴が始まった。

会には、当協会の相談役である筑紫むくげの会会長他むくげ会の面々も出席され、なごやかな会となつた。

## 阿蘇市テコンドー協会忘年会 12月24日

クリスマスイブの日、阿蘇支部阿蘇市テコンドー協会の忘年会が行われた。今年1年の反省をしながら来年に向けて会員、指導者、保護者と一体となって頑張ろうと誓い、楽しい年忘れの会は終始和やかに行われた。



式典会場



和やかに行われた忘年会

# テコンドーくまもと vol.44 TAEKWONDO KUMAMOTO 2014.8 ▶ 2014.12



県ジュニア選手権 東民運動公園体育館

## 佐藤辰(託麻)が初優勝! 県ジュニア選手権! 11月23日 県民運動公園体育館

第17回県ジュニア選手権大会及び今年から復活した第15回県新人戦大会は、県民運動公園で県内各支部道場、大学等が参加して、ブンセ、キヨルギの2競技が実施された。

開会式の後、ブンセ競技から実施され、団体ブンセは昨年に続く阿蘇道場が二連覇を達成した。キヨルギでは、中学生男子で佐藤辰選手(託麻道場)が高校生を含めた女子では木村暁選手(不知火)が見事優勝、最優秀選手には、川尻道場の野田駿音選手が選ばれた。

同時に開催された新人戦では、男子軽量級で藤田誠也選手(崇城大)同重量級は中島海樹選手(熊本大)女子の部では井遙菜選手(学園大)がそれぞれ優勝を飾った。



入賞選手



記念写真

## 富田大翔選手・銀メダル! ソンナム国際チルドレンオープン大会 8月17日 韓国・城南市体育館

第3回ソンナム国際チルドレンオープン選手権大会は、世界12カ国が参加して8月15日から17日までの3日間、6歳から14歳までのジュニア選手がキヨルギ、ブンセ等に登場し競技が行われた。

日本からは、熊本県協会からの5名の選手と宮城県、相原道場からの選手が数名参加し、阿蘇道場の富田大翔選手が銀メダルを獲得した他、メダル3個を獲得、城南市は、樋口清輝支部長が3年間留学した豊生(ブンセン)高校があり、試合前には、豊生のテコンドー部で練習に参加した。

ほとんどの選手が国際大会は最初の経験で、外国選手との交流も含め、参加した選手は夏休みの良き思い出と良き経験となつたに違いない。



韓国ドラゴンチームと記念撮影



大会会場



銀メダルを獲得した富田大翔



発行 一般社団法人 熊本県テコンドー協会 / 熊本県阿蘇市内牧252番地 TEL 0967-32-0044 FAX 0967-32-0046

ホームページ ▶ <http://www.kumamoto-taekwondo.jp>

Eメール ▶ [info@kumamoto-taekwondo.jp](mailto:info@kumamoto-taekwondo.jp)

※大会結果の詳細はホームページに掲載

## 昇級審査会、合同練習会に100名以上が参加! 8月3日 県民運動公園体育館

夏季昇級審査会は、県民運動公園体育館に100名が参加して行われた。

今回は、審査前に1時間の合同練習会も実施され、7月に、国際師範研修会に参加した、園田、金村の2名の師範も参加。

さっそく学んだ技術面等を指導に加え、熱の入った合同練習会となった。



## 第3回熊本県小学生大会 水前寺道場、団体戦優勝飾る! 8月31日 熊本市南部総合スポーツセンター体育館

今年で3回目となる熊日学童五輪テコンドー競技兼第3回県小学生大会は、県下13道場から72名が出場し、キヨルギ、ブンセの2競技で行われた。

開会式では主催者挨拶として池下敬一郎熊日事業部長、樋口悦夫県協会会長が、また、来賓を代表し藤原博敏阿蘇市議会議員の激励の挨拶の後、富田大翔（阿蘇道場）、吉田陽菜選手（宇土道場）の選手宣誓が行われ、ブンセ個人戦から行われた。

また、幼児6名によるキヨルギの模範試合や、大学生らによるデモンストレーションも行われ大会を盛り上げた。団体戦ブンセでは、川尻道場が2名の参加で武道館Aを抑えて初優勝、また、団体戦キヨルギでは、水前寺道場が宇土道場に2対1で勝利し、嬉しい初優勝を飾った。

個人選手としては、大会三連覇を果たした富田大翔選手（阿蘇）野田里香選手（川尻）に拍手をおくりたい。

## 昇級昇段審査に120名が受験! 12月7日・13日 県民運動公園体育館・学園大武道場

冬季昇級及び昇段審査会は、7日に本審査会、13日に予備審査会が行われ、述べ120名が受験した。

昇段審査は、今回最多の21名が受験、特に大学生が積極的に審査会に臨んだ。

受験者は、今年最後の審査に真剣に取り組んでいた。



審査会の様子

審査会の様子

## 国際師範研修に県協会から3名が参加! 7月15~19日 韓国

第36回外国人・国際師範研修は、7月15日から19日までムジュのテコンドー院で約120名の海外からの4段以上の師範が参加して開催された。

日本からは、神奈川のイーグル会からの1名と県協会から、園田裕文師範、樋口清輝師範、金村康正師範の3名が参加し、約1週間の研修を受講し、最終日に実施された試験を受け見事に合格、国際師範のライセンスを得た。

日本人としては、県協会長である樋口悦夫師範が、1999年の第2回研修会で国際師範免許を取得したのが最初で、これまでに約10名が、邦人として、国際師範を取得している。

県協会としても、樋口会長をはじめ3名が国際師範のライセンスを得たことで、更なる普及活動に邁進できそうである。



国際師範研修の様子



記念撮影



日本からの参加者

## ライオンズクラブパーティでテコンドー演武を披露! 8月27日 ホテルキャッスル

弁護士であり、県協会顧問の北里敏明先生の依頼により、ライオンズクラブパーティ約100名の中、ミット蹴り、板割り、模範キヨルギなどテコンドー演武を、樋口清輝支部長、津田ひかる、阪上弘一、津田輝史朗の4名で行い、その技の迫力とスピードに会場からは大きな拍手が沸き起きた。

テコンドーのPR活動としては、このような会合等での演武は重要と云える。



演武の様子



演武の様子



樋口清輝支部長のあいさつ

## 熊本県テコンドー協会・一般社団法人へ! 9月1日

熊本県テコンドー協会は、9月1日を以て、一般社団法人となった。

全日本協会が自ら返上し、公益取り消しとなった公益社団法人に比べれば、公的な信用性は低いが、法人格を取得することで、今までの任意団体に比べ、より社会的な信用を得ることや、基金を創設するために、財政面で協賛等を受けやすくなりなど運営面でのメリットもある。

全日本協会は、公益社団法人から一般社団法人となったが、熊本県協会は、任意団体から一步前進し一般社団法人となった。